

症例一覧記載例

④-1

症例一覧用紙 No. 1

氏名	心身 太郎
----	-------

症例 No. 氏名(イニシャル) 性・年齢・カルテ番号	入院外来	指導医名	治療期間 (外来回数)	診断名(併記可)	心身相関の概要	治療の概要
症例 No. : 1 イニシャル : Y.O. 性・年齢 : 女 17 歳 カルテ番号 : 522-234-8	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来	山田 太郎	入院1か月 外来8か月 (15回)	神経性食欲不振症	元来母子密着が強かったが、学校への不適応を契機に不食・やせを呈し、ますます母親との密着を強めることとなった。	補液による脱水改善を併用しながら、認知行動療法的アプローチ及び家族面接を行った。
症例 No. : 2 イニシャル : T.M. 性・年齢 : 女 25 歳 カルテ番号 : 342-665-0	<input type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	なし	7か月 (15回)	過換気症候群	職場で上司と意見の食い違いが生じた際に過換気発作が出現し、以後職場で不安な状況になるたび発作が出現するようになった。	抗不安薬を用いるとともに、一般外来にて簡易精神療法を行った。
症例 No. : 3 イニシャル : M.N. 性・年齢 : 男 36 歳 カルテ番号 : 444-323-8	<input type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	なし	6か月 (12回)	過敏性腸症候群	職場が配置転換となってから、出勤しようとする朝下痢をするようになった。職場への不満が身体化されていることが推察される。	抗不安薬及び腸管運動調整剤を用いるとともに、一般外来にて簡易精神療法を行った。
症例 No. : 4 イニシャル : K.W. 性・年齢 : 男 43 歳 カルテ番号 : 556-893-3	<input type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	なし	10か月 (16回)	緊張性頭痛	昇進してから症状が出現。責任感が強く、職務を果たそうとするが失感情症の傾向があり、ストレスへの気づきが悪く症状を形成。	抗不安薬を用いながら、自律訓練法、バイオフィードバック療法を併用した。
症例 No. : 5 イニシャル : M.J. 性・年齢 : 男 72 歳 カルテ番号 : 424-090-4	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来	山田 太郎	入院2か月	大腿骨骨折 うつ病	大腿骨骨折による入院、手術後、うつ状態となった。	整形担当医と連絡を取り、症状説明を綿密にしてもらい、抗うつ剤及び支持的精神療法を行った。